めぐみ

2025年
３月号

学校法人　聖公会北関東学園
認定こども園
初　雁　幼　稚　園
〒350-0057　川越市大手町 8-5
Tel 222-5385　　Fax 228-5010

憧れのマツケンに会えました！ 年長すみれ組担当　内田詩緒梨

ご報告です。ついに、私、内田は、憧れのマツケン（松平健さん）に会えました！

以前めぐみでも書かせてもらいましたが、４歳のころに祖父からプレゼンされた「マツケンサンバ II」の DVD。回るミラーボール、輝く衣装、心踊る歌、テレビに映るマツケンサンバに心奪われ、アンパンマンよりマツケンに夢中になる幼少期を過ごしていたのです。

周りの先生方からは「運動会でマツケン踊りましょう！」「お店にマツケンの靴下売ってましたよ」とか、保護者の方からは「今度マツケンのフィギュアが出るらしいですよ！」「暴れん坊将軍みましたか?!」などたくさんのマツケン情報をいただき、しおり先生=マツケンサンバが浸透していった３年間。川越での遭遇情報も聞きました。しかし、なかなか会えない‼

諦めモードだった姿を見ていた母が、一枚のチラシを見せてくれました。そこには「マツケンサンバコンサート」の文字が‼場所は所沢！急いでチケットをとり、妹と見に行きました。

コンサートが始まると、出てくる出てくるキラキラの着物衣装とマツケンシリーズ曲。サンバ、ロック、マンボ、マハラジャ、何でもありな２時間はとても楽しかったです。大好きなマツケンサンバ II も聴け、ペンライト３本と作ったうちわをブンブン掲げて踊りました！

老若男女の広い層が集まる客席は、年齢性別関係なく同じ歌を歌ったり、踊ったりしています。初めて会う人ばかりですが同じ物を好きになり、「楽しい！」を共有できるのはいいなと思いました。

幼稚園でも、アイドルやスポーツ選手、アニメ、遊びなど好きなものが子どもたちをつなげてくれます。成長とともに世界が広くなり、さまざまなことに触れていく子どもたち。これからもワクワクする心と、純粋に夢中になれる時間、そして「いいね！」と一緒に思ってくれる仲間との出会いを大切にしてほしいなと思います。

今 月 の 保 育 目 標 と 予 定

☆保　育　目　標★

今月のテーマ

「希望をもって」

今月のねがい

○安心と希望を持って歩みを進める
○新しい生活へ期待を持ちながら、好きな遊びを存分に楽しむ
○神様の見守りの中で、大きくなったことを感謝する

学年別のねがい

（１歳）自分でできることが嬉しい
（２・満３歳）興味が広がる
（年少組）大きくなることに憧れ、期待を膨らませる
（年中組）進級への期待が高まり、自信を持つ
（年長組）就学を期待し、希望を持って歩む

ひとこと

幼稚園のどの場所でも好きな遊びを楽しむ子どもたちの姿を見ることができます。友だちや先生とたくさん遊んで毎日を過ごし、泣いて笑った１年間。たくさんの人に愛されて、神様に守られて、どの子も本当に大きく成長しました。どこへ行ってもどんなときにも神様の見守りがあることを忘れずに、安心と自信と希望を持って進んでいってほしいと思います。嬉しい期待で満たされる３月となりますように！

今月の聖歌

「どんなときでも」

★予　　定☆

日	曜	行事などの予定
1	土	就労家庭保育実施日　保護者・教職員交流会（希望者）
2	日	
3	月	ちらし寿司会食
4	火	
5	水	
6	木	おわかれ会　　アルミ缶回収
7	金	全体礼拝　職員研修　　↓ 地震引き渡し避難訓練（13時実施）
8	土	就労家庭保育実施日
9	日	
10	月	
11	火	おはなしの会
12	水	３月生まれ誕生会
13	木	
14	金	卒園式予行（年長児）
15	土	就労家庭保育実施日
16	日	
17	月	卒園記念樹植樹
18	火	
19	水	期末短縮（11時30分降園）
20	木	第124回卒園式・修了式　春分の日
21	金	
22	土	就労家庭保育実施日　園内整備・お父さんたちとの交流会（有志）
23	日	
24	月	
〃	〃	
28	金	
29	土	就労家庭保育実施日
30	日	学園理事会
31	月	
４月		
5	土	第 125 回入園式（土曜保育なし）
8	火	進級式・始業式（11 時 30 分降園）
9	水	通常保育

チャプレンのページ

新約聖書の世界

「これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。」

（ヨハネによる福音書 第 20 章 31 節）

幼稚園では園児に、卒業に合わせ新約聖書をプレゼントします。新約聖書とはどのような存在なのか、今回はその要点をご紹介したいと思います。

聖書は２種類あり、旧約聖書と新約聖書になります。この「約」という字は「約束」という意味で、神様と人間との約束を表します。そして何をもって旧いと新しいを区別しているのかと言いますと、イエス・キリストの登場をもって分けています。従ってイエス・キリストの誕生にちなむ物語はすべて新約聖書に書かれているわけです。

最初の４つは、「福音書」と言われる書物です。これは英語の Good News を明治時代に翻訳した言葉で、現在の方々なら英語の方がわかりやすいかもしれません。イエス・キリストが教えたこと、行ったことが、人々にとって「よい知らせ」であった、それを書き記したのが福音書というわけです。それぞれ書いた人の名前を入れて、マタイによる福音書、マルコによる福音書、ルカによる福音書、ヨハネによる福音書という名前になっています。イエス・キリストの伝記でないのに注意しておきたいと思います。福音書は、イエス・キリストの生涯を書いたのではなく、よい知らせであった部分を記し、後世に伝えているのです。

５つ目の書物は、「使徒言行録」です。これは「ルカによる福音書」の続編で、両方の書物が同一人物によって書かれたことはほぼ疑う余地がありません。イエス・キリストが天に帰られた後、当時の全世界、現在で言えば地中海沿岸各地へキリスト教が使徒たちによって伝えられていった過程が書かれています。

６つ目から 26 番目までがすべて「手紙」になります。使徒たちによってキリスト教が伝えられ、後日、使徒たちが現地の人たちへ書いた手紙になります。向けられた地名が書物名になっているのと、書いた使徒の名前がつけられている手紙があります。興味深いのは、福音書より手紙の方が古い時代にその多くが書かれており、イエス・キリストの言動を学ぶのに福音書はもちろん、手紙がさらに重要なことがよくあります。

新約聖書の最後が「ヨハネの黙示録」です。黙示文学はユダヤ人たちが好んで用いた文学様式で、たとえで語られる様式です。迫害が激しかった当時、キリスト教を伝えるのに大切な手段として用いられ、どんな困難にも負けず信仰を貫こうとの強いメッセージが語られます。

皆様もぜひ、新約聖書世界をご覧いただき、不明なことをお聞きいただければと思います。

（チャプレン　鈴木　伸明）

クラスの窓（まど）

つくし組

歩きたい！話したい！見つけたい！

いつの間にかバギーなしの散歩が増え先生や友だち同士で会話を広げながら歩けるようになりました。今まではバギーで「スーッ」と通っていたお店も、一旦立ち止まり窓越しに店内を観察しています。街中の装飾の張り替えに季節の変わり目を感じたり、歩いているからこそ気付ける楽しさを味わい、目的地に行くだけではなく散歩道は宝探しのようにたくさんのものを見つけて歩く心踊る時間になっているようです。また、保育者と上手につなげるのはもちろん、友だちと短い距離をつないで歩く経験もしています。何げなく会話を楽しんで歩いていますが、ふと夏ごろを思い返すと保育者の声掛けの方が多かったなと感じました。今では保育者がひとこと発すると「〇〇くんも！」「△△ちゃんさぁ～」とどんどんみんなが話始めます。また子ども同士で「うんうん」と会話したり、「〇〇ちゃん‼」と話しかけたり。友だちと一緒に歩きながら会話や発見を楽しむ姿を見て、この一年の成長があちこちで垣間見え、なんだかしみじみしてしまった保育者です。

もも組

いろいろな友だちと

３学期になり、少しずつお兄さんたちと遊ぶことが増えたもも組。最初は２、３人での追いかけっこから始まり、「いーれーて！」と年少組のお兄さんたちが増えていきました。ドキドキして保育者と手をつないで走っていた子も、楽しくなってくるといつの間にか自分の力で走り始め、「きゃー！」と鬼から逃げていました。その次はかくれんぼ。もも組だけでするかくれんぼは想像通り、早く見つけてほしくて、わくわくが抑えきれなくて「ばぁ」「ここだよ‼」と出てきてしまう子どもたち。それが、お兄さんたちの影響でじーっと隠れ続け、「最後まで見つからないってかっこいいのかも」と、最近では見つからなさそうな場所を探して最後まで隠れられるようになってきました。また、どんぐり組でしっぽ取りに参加した子がいたので、ホールでしっぽ取りもやってみました。初めてでしっぽを付けたがらない子も多かったのですが、しっぽを取ることはみんな大好き！しっぽめがけてたくさん走り、保育者がばててしまうほどでした…。これからも友だちと遊ぶ楽しさをもっと味わっていこうね♪

ちゅうりっぷ組

チャンピオンボーイ！チャンピオンガール！

「４月は年少クラス恒例の泣き泣きの大合唱!?じゃなかったー！」と書いた新年度のめぐみ。「元気いっぱい！」のちゅうりっぷ組、あれから約もう一年。心も体も大きく成長しました。まずはできることが「たくさん」になったこと。朝の支度では、ウッドデッキや床に荷物を置いて「なかなか進まなーい」という状態でしたが、２月からはリュックは背負って、レッスン

バックは腕に引っ掛けて、そのままお支度！あれあれ、いつの間にこんなできるようになったのかな…「もうおわっちゃったんですけど」とドヤ顔の子もいれば、「え、終わってるよ」なんてクールな反応の子も。「え、もう終わったの？チャンピオンボーイ(ガール)じゃない！」と伝えると得意げな顔。門で「行ってきます」も日に日にできるようになってきました。ちゅうりっぷ組は、自分のことだけでなく友だちが困っていたり、「助けてあげて」と言うと「手伝おうか」「〇〇がやってあげる」とすぐに助けてくれる優しい友だちです。自分のことも、友だちのこともがんばるチャンピオンボーイ＆ガールたち！４月には憧れの黄色バッチのたんぽぽ組だね！

たんぽぽ組

かっこいいすみれ組を目指して

たんぽぽ組はすみれ組になる準備をしている真っ最中です。２月からはうさぎ当番の引き継ぎが始まりました。エプロンをつけると気持ちが引き締まります。うさぎ小屋に入るとお腹を空かせたうさぎがついてきてドキドキすることもありますが、お兄さんお姉さんの堂々とする姿に自然と落ちいてきます。ホウキではいてきれいにし、見本を見せてもらい硬い人参を包丁でカットします。保育者はほぼ見守り、子どもたちの中で教え教わっています。何もかも初めてだらけの経験。でも、子ども同士でここまでできることに、この一年の成長とやる気を感じ嬉しく思っています。

当番をした日の集まりでは、うさぎ当番の感想を発表してもらっています。「ふわふわしていてかわいかった」「ちょっと臭かった」「お野菜食べてくれて嬉しかった」など自分の感じたことを伝えてくれます。すみれ組の姿からいろいろなことを学んできたたんぽぽ組。きっと素敵な初雁幼稚園のリーダーとなっていってくれるでしょう‼楽しみですね。

すみれ組

心豊かに育った一年間

「おはよう」のあいさつをして支度を済ませたらすみれ組の子どもたちは遊び始めます。カプラや積み木を使って、「マインクラフト」の世界をイメージして要塞や町を一時間以上かけてつくりあげたり。ウッドデッキでマクドナルドの店員になりきり、お客様を笑顔で接客したり。園庭では「ドッチボールやる人！」と大きな声で人数を集め、グーとパーに分かれたら試合が始まり、賑やかなゲームを楽しんでいます。

「先生一緒に遊ぼう」と言っていた子どもたちは、いつの間にか子ども同士で遊べるようになり絆が深まりました。子どもたちとともに過ごした時が、心豊かに育ったと感じることができた一年となりました。これから新しい世界に旅立つ 20 名のすみれ組を、担当２人は全力で応援し続けます！残り少ない幼稚園生活を大事に過ごしていきましょうね。

すみれ組の絆が深まった思いを新すみれ組、新たんぽぽ組、新ちゅうりっぷ組にお別れ会で届けます。「ともだちっていいな！」をお楽しみに。

わが家のまど

(342) 息子とスマホ

補助教諭　福島　美帆

わが家の中学生男子たちはスマホを手に取れば、インスタや TikTok を観ています。分からないことがあればサッと答えを検索、インスタでは将来同じ夢を持っている他県の子とやりとりしている息子たちです。やり出すと止まらず他のことが疎かになるので困りもの。私

の角が生えることもしばしばです。私は昭和のポケベル世代、その頃からは考えられない時代になりました（笑）
　先日息子から「TikToker がおいしい料理を紹介しているよ。お母さんこれ作ろうよ！」と料理のリクエストがありました。「ちょっとやってみるか！」とフライパン片手に動画（takataku ハッシュドポテト）を観ながら料理に夢中の息子。笑いを取りながら楽しく教えてくれる動画は、私も見入ってしまい TikTok に熱中してしまう息子の気持ちがわかりました。TikTok の情報はすごいですね。息子は肉料理とチャーハンが得意。母は大量の肉をせっせと買いに行き一緒に料理をしています。反抗期真っ盛りですが共通の時間が持てることに喜びを感じます。スマホは約束を守れば利点もあるので使い方次第ですね。
　先日オーストラリアで 16 歳未満の SNS インスタや TikTok、X 利用を禁止する法案が可決されました。ニュースを観て「えっ！！(･_･;)」と残念そうな息子たち。近い将来、日本も制限がかかりそうです。便利なツールですが心配なこともあります。わが子のスマホの使い方に目を光らせないと！
　やっぱりスマホより家族の会話が一番です。初雁パパママは子どもたち思いの方ばかりで、伸び伸びと子育てされていますね。私も息子たちとの会話を大切にしてスマホの誘惑にまけないような雰囲気作りを心掛けていきたいと思います。

今月の聖書のおはなし

☆３月７日「トマスの疑い」　　ヨハネによる福音書 20：19～29
　イエス様は十字架の上で息を引き取りました。弟子たちはユダヤ人を恐れて、家の戸に鍵をかけて集まっていました。そこへ、イエス様が現れ、弟子たちに「あなたがたに平和があるように」と言われ、宣教の働きを託しました。復活したイエス様に会った弟子たちは皆喜びましたが、そこに居合わせなかった弟子が一人いました。イエス様に会えなかったトマスは「手に釘跡を見、この指をその釘跡に入れてみなければ決して信じない」と言いました。８日の後、再びイエス様が現れ、トマスに向かって言いました。「あなたの指をここに当てて私の手を見なさい。信じないものではなく信じる者になりなさい。見ないのに信じる人は、幸いである。」